



# 梅田中だより

<第7号>

# 7月

## 1 学期の期末テストが終了しました。

6月22日(火)から24日(木)まで3日間の定期テストを実施いたしました。毎回、子供たちに伝えているのですが、定期テストは、日頃の学習成果を振り返る大切な機会になります。どの生徒にも考えてほしいことなのですが、テスト後は、あらためて今の自分の学習状況を見つめ直し、気持ちを整理して、次の学習に臨んでほしいと伝えています。試験ですので、必ず、結果が気になることと思います。結果のみに一喜一憂せず、次の学習に臨む力を蓄えてほしいと思います。子供たちは、これまで自分で作成した学習計画表にもとづいて準備をしてきました。3年生には、中学校生活に悔いを残さず、自分の夢を実現するために気持ちを整理して、残された中学校生活に臨んでほしいと思います。そして、1、2年生には、苦しくても自分自身と向き合うことの大切さを考えてもらいたいと思います。大人になると、中学校、高等学校のように定期テストに追われることはなくなりますが、自分で考えた道を責任をもって歩むことになります。自分の人生をしっかりと自分の力で生きるためのたくましい力は、人に頼らず、自分自身で物事を切り拓くことで身につくと思います。今が、その力をつける時期なのだと思います。

## 中体連総体への激励壮行会を実施しました。

6月30日(水)に桐生市中体連総体に向けて、激励壮行会を実施しました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中体連市総体が中止となり、激励壮行会も実施できませんでした。今年は、しっかりと感染対策を施したうえでの市総体の実施となります。早い種目は7月3日(土)から競技が開始となります。市総体に向け、生徒会本部役員を中心に、全校で市総体の活躍を祈って激励壮行会を行いました。

市総体に参加する各部の一人一人から力強い決意の言葉を聞いた後、例年であれば円陣を組み雄叫びを上げるのですが、今年は大きな声を出すことはかないません。健闘を誓い合い、最後に体育主任の藤生先生が「若い力」の曲に合わせて太鼓をたたくと、本来ならば大声で合唱するところなのですが、3年生の子供たちが「若い力」のメロディーに合わせて身体をそらし、声を出さずに懸命のパフォーマンスを行いました。



応援団長、藤生教諭

どの子供たちにも必ずチャンスがあります。また、ここまで一生懸命、練習を積んできました。あとは、自分へのチャレンジだけです。成果を出すことは、簡単ではないと思いますが、自分の限界への挑戦なのだと思います。そして、試合を楽しむことです。

激励壮行会の最後で、校長からの話をさせていただきました。練習がうまくいかず、上達する過程では辛く、苦しい思いをしたこともあったと思います。

しかし、これまでの練習の成果を力一杯、発揮してほしいということと、

何よりも、これまで優しく見守ってくれた保護者の皆様、いつも全力で応援をしてくれた梅田中学校の教職員、これまで、関わってくれた全ての人に感謝の気持ちを忘れないことを伝えました。



声を出さなくても一致団結



中学校生活最後の市総体に臨む3年生の子供たち

# 授業の様子をのぞいてみました。その1 1年生

先日、校舎内を教頭先生と一緒に点検しながら回っていると、1年生の子供たちの元気な歓声が聞こえてきて、一体、何をやっているのだろうと思ひ、気になったので教室へ見に行きました。ちょうど、理科の授業中で「イカの解剖」実習を行っている最中でした。イカの大きさは、それほど大きくはありませんが、生物の体のつくりを調べるには格好の教材です。

どの生徒も、興味津々で、最初はイカの生臭さに「あっ、臭いが…！」と言って、困り顔でいた生徒も、授業が進み、岡田教諭の説明を聞きながら解剖が進み、徐々にイカの体の中の状態が見えるようになるにつれて、

「あっ、これが心臓！」「へ〜、ここで息しているの？」など、とても興味深く、体の仕組みを学んでいきました。運悪く、スミを貯めている墨汁嚢を潰してしまった班は、せっかく解剖した体の構造が黒いスミに包まれ、よく見え



じっくりと体のつくりを調べます

なくなってしまうというトラブルに見舞われていました。しかし、そんな時には、机間指導している岡田教諭が、絶妙なタイミングで音もなく近寄り、ずっとスポットで水を垂らしてくれて、また、きれいに体の構造が見えるようになりました。生徒たちは「おおっ！」とあらためて歓声を上げながら、次々に体の各部の仕組みを納得しながら学んでいました。授業の最後に、生命の素晴らしさにもふれ、生物が生きることは、素晴らしいことであることも説明してくれました。子供たちは、この授業から、自分自身の体のことに思いを寄せ、命の大切さと、精密でしなやかに動く

自分の体の素晴らしさに、あらためて感心していました。また、生きていることに感謝をする一日にもなったようです。さまざまなことに気づいた素晴らしい授業であったと思います。

自分自身の体のことに思いを寄せ、命の大切さと、精密でしなやかに動く



ドクターXのような手さばきで進みます

## 新しい検温計を集中玄関に設置しました。

7月より、梅田中学校の職員玄関を入った廊下部分（会議室前）に自動検温計を設置しました。これまで、保護者会等でご来校の際に、非接触型の体温計を使用して、こまめに検温をさせていただいておりました。なんとなく銃で撃たれるような気持ちになりそうな形態の物でしたが、今回の検温計は、検温計の前に立ちモニターの丸い部分に顔を合わせると、チャイムの音とともに自動的に検温が終了し、体温が表示されます。

学校へ出入りする来校者の方にも好評で、とても受付事務がスムーズに進みます。体温計測も短時間で済みますので、今後、梅田中学校へご来校の際には、ぜひともご活用ください。



モニターに顔を写し、  
体温を測定します



足跡マークで立ちます



梅田中学校 学校通信 「梅田中だより」 <文責 阿部 誠二>

TEL 32-1018 , FAX 32-1039

URL <http://www.kiryu-umeda-j.ed.jp/>

上のQRコード又はURLから梅田中学校のWebページをご覧ください。

※ ホームページの更新を随時しております。写真もカラーで掲載しておりますのでご覧下さい。